

<端材活用エコシステム開発プロジェクト> 船場が製作した家具について

01 /01

主にキッチンカウンターなどで使われる人造大理石の工場端材を活用し、素材の魅力と可能性を伝え、使い方を再考(re-think)するプロダクトとして再生させました。

re-think table / re-think stool

色とりどりの人造大理石がで構成されたテーブルとスツール。天板だけでなく脚部分も同素材で構成しており、キッチンカウンターとのコーディネートも可能です。シンボリックで存在感のあるテーブルは、ダイニングやオフィスなど様々なシーンのインテリアで主役になります。

人造大理石の加工に長年携わってきた工房の、高度な技術によるスリットの形状が特徴で、7種の素材やカラーバリエーションが1台でご覧いただけます。1脚で4種類のカラーを使用したスツールは、見る角度によって異なる表情が楽しめます。



connec-table

ICTを活用した授業やアクティブラーニングでの使いやすさを追求した、新しい形の学習机。人造大理石の優しい色合いと木の異素材の組み合わせが楽しめます。

天板面積は一般的な学校机とほぼ変わらないまま、奥のデッドスペースをなくし、手前側をゆったりと使えるように広くしました。タブレットとテキストを同時に広げても余裕があり、最も硬質な素材のひとつである人造大理石を天板に使うことで、机上で様々なワークを可能にします。

組み合わせ次第でレイアウトのバリエーションも広がり、グループワークでも活躍します。一人用サイズなので小回りがきき、授業内容や形式に合わせて幅広くお使いいただけます。

■ エシカルデザインおよびエシカル思考について

船場は2021年よりエシカル活動に力を入れています。人や地域や自然環境に対して思いやりの視点を持ち、空間創造における全てのデザインプロセスを一人一人が「Re-think」することから始めるエシカルデザインの考え方、「Semba Ethical Design Thinking」を推進。2022年から「未来にやさしい空間を」を企業のミッションに掲げています。

SEMBA CORPORATION

商業施設をはじめオフィスや教育・文化施設等の様々な空間創造において、企画・設計・施工・メンテナンスまでをトータルでサポートしています。サステイナブル社会に求められる空間設計の新たなテーマとして循環型の内装設計“エシカルデザイン”を推進しています。

社 名 株式会社船場 (カフシキガイシャ センバ)
所 在 地 東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館9階
上 場 東京証券取引所スタンダード市場(コード番号:6540)
主 な 実 績 Firsthand BAYARD MIYASHITA PARK(設計・施工) / GREEN SPRINGS(企画)
CAMPUS VILLAGE大阪近大前(設計・施工) / VOYAGE GROUP OFFICE(設計・施工)

SEMBA

本件に関するお問い合わせ:株式会社船場 PR部 ☒ corporation1008@semba1008.co.jp
☎ https://www.semba1008.co.jp